

報道機関各位

2022年4月22日

銚子丸からウクライナの人々へ「一皿ご支援(4円)」実施

株式会社銚子丸(本社:千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長:石田 満)は、ゴールデンウィーク中の2022年4月29日から5月8日までの10日間「一皿ご支援(4円)」と題して、期間中お客様が召し上がったお皿一皿あたり4円を、ウクライナへの緊急支援活動を行っている UNHCR (国連難民高等弁務官事務所)に寄付いたします。期間中250万皿、寄付金額1000万円を目標として、一皿でも多く召し上がっていただける様に、より良い商品・サービスを提供して参ります。



銚子丸は既に UNHCR への1000万円の寄付を2022年4月22日に実施しております。追加で行う今回の「一皿ご支援(4円)」では、ご提供する商品の一皿一皿に銚子丸の平和への思いを込めるとともに、追加する寄付金の額をお客様が召し上がるお皿の数によって決めることで、お客様には負担なく、支援への思いを共有することを目的としています。

また、この「一皿ご支援(4円)」とは別に、店頭で募金箱を設置し、お客様からの寄付を募り、支援の輪をさらに広げたいと考えております。

寄付金はウクライナ国内外情勢の急激な悪化に伴い、避難を強いられている人々の保護と救援物資の提供のために使用されます。国連 UNHCR 協会のホームページによると、「国連と人道支援パートナーは3月1日、ウクライナ国内の人々、近隣国に逃れた難民に対して緊急人道支援を実施するために、合わせて17億米ドルの共同緊急アピールを発表した。国連の推計では、ウクライナ国内では1200万人が救済と保護を必要としており、ウクライナからの難民に関しては、この数カ月で400万人以上の保護と支援が必要になる可能性がある。」として、緊急の人道支援を呼び掛けています。

私ども銚子丸ができることには限りがありますが、少しでもできることから実行して行きたいと考えております。今後も、早期の停戦と、ウクライナの人々が一日も早く平穏な生活に戻ることを願いつつ、日ごろお世話になっているお客様やお取引先様とも思いを共有し、その時々適切な支援を検討して参ります。

この件に関する取材のお問い合わせは以下にお願いいたします。
株式会社銚子丸 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田 2-39 経営戦略室 下公(しもこう)
Mobile: 090-6020-4525 Email: shimoko_y@choushimaru.co.jp

UNHCR への寄付
について詳しくは



(株)銚子丸は、東京、千葉、埼玉、神奈川において合計91店舗をすべて直営で展開。銚子港をはじめ世界中の海から新鮮なネタを仕入れ、さばきたて握りたてをご提供するグルメすしチェーン店「すし銚子丸」(82店舗)、複合商業施設などに出店する新業態「すし銚子丸 雅(みやび)」(4店舗)、寿司割烹業態の「江戸前すし百萬石」(1店舗)、テイクアウト専門店(4店舗)各業態とも店舗を舞台、従業員を劇団員として観客であるお客様を楽しませる「劇場コンセプト」が特徴。(店舗数はいずれも2022年4月現在)



ひとさらごしえん
一皿ご支援 (4円)

お召し上がりのお皿一皿あたり4円を
ウクライナ難民支援活動に寄付します

4/29
(金)

5/8
(日)

上記の 10 日間、お客様が召し上がったお皿一皿あたり4円を
ウクライナへの緊急支援活動を行っている UNHCR (国連難民
高等弁務官事務所) に寄付いたします。期間中 250 万皿 (寄付
金額 1000 万円) を目標に、一皿一皿思いを込めて。
詳しくは店頭に掲示物、あるいはこちらからご覧ください→



2月23日、ウクライナ東部ドネツクから逃れる
列車に乗り込もうとするウクライナの子ども

ウクライナ緊急事態

©REUTERS/Alexander Ermochenko